

ごんぎつね（第一時）

言葉の意味調べ

はぎのかぶ	
川べり	
ただのとき	
すすきのほ	
つつみ	
もず	
百姓家	
菜種がら	
ほりちらしたり	
あたりの村	
しげった	
しだ	

はんの木	
どなり立て	
ぬすっと	
下手	
川上	
びく	
きす	
木切れ	
しばの根	
はぎの葉	
はりきりあみ	
まくし上げて	
川下	
横だおし	

言葉の意味調べ

ごんぎつね（第一時）

しだ	しめりけをこのむ植物
しげった	たくさん生えた
あたりの村	近くの村
ほりちらしたり	ほってまわりにちらかす
菜種がら	なの花の種を取った後のカラ
百姓家	農家
もず	秋に鳴く鳥
つつみ	川の水があふれないよう土をもった所
すすきのほ	秋に実を付けるすすきの実の部分
ただのとき	いつも・ふつうのとき
川べり	川のはじ
はぎのかぶ	はぎという植物の根本

横だおし	横にたおれて
川下	川の下の方
まくし上げて	まくって上にあげて
はりきりあみ	魚をとるためのあみ
はぎの葉	はぎという植物の葉っぱ
しばの根	しばという植物の根っこ
木切れ	木のきれはし
きす	魚
びく	魚をいれるかご
川上	川の上の方
下手	川の下の方
ぬすっと	どろぼう
どなり立て	おこって
はんの木	田の近くによく植えられる木

お百姓	農家
いちじく	くだもの
家内	妻・奥さん
お齒黒	結婚式や葬式のお化粧
かじ屋	農具や工具をつくる人
かみをすいて	かみをとかして
お宮	神社
のぼり	はた
きれ	布
そうれつ	葬式に出ている人の列
かみしも	現代のスーツ
とこについて	病気になるって
うら戸口	家の裏の出入り口
つぐない	悪いことをしたかわり

ぬすびと	どろぼう
月のいいばん	月のきれいな夜
つれ立って	一緒に歩いて
かげぼうし	かげ
あわれ	かわいそうだと思うこと
引き合わない	わりに合わない・デメリットが大きい
縄をなうて	縄をあんて
なや	物置小屋
土間	げんかん
目をおとす	下をむく
つつ口	てっぽうの先

第一場面

○ごんは、どんないたずらをしていましたか。三つ書きましょう。

--	--	--

○登場人物の感情を考えましょう。

①いたずらをしているごんの感情

--	--

②雨の中、あなの中にしゃがんでいるごんの感情

--	--

③うなぎを うばわれた 兵十の感情

④あなにもどってきた ごんの感情

ふりかえり

第二場面

○ごんは、どうして「そうしきだ。」と考えたのですか。

--	--	--

○登場人物の感情を考えましょう。

①六地蔵のかけにかくれているごんの感情

--	--

②おっかあが死んでしまった兵十の感情

--	--

③あなの中で考えているごんの感情

--	--

○どうして、ごんは「いたずらをしなけりやよかった。」と考えたのでしょうか。

○ふりかえり

第三場面

○登場人物の感情を考えましょう。

①兵十のうちに、いわしを投げこんだごんの感情

--	--

②兵十がいわし屋にぶんなぐられたとしたごんの感情

--	--

③兵十のうちへ くりをとどけるごんの感情

--	--

○ふりかえり

第四・五場面

○登場人物の感情を考えましょう。

①加助と話をしている兵十の感情

--	--

②兵十と加助が話しているのを聞いているごんの感情

--	--

③加助が兵十に「神様がいろんな物をめぐんでくださるんだよ。」と言ったときのごんの感情

--	--

○ふりかえり

第六場面

○登場人物の感情を考えましょう。

①きつねがうちの中へ入ったのをみた兵十の感情

--	--

②いつもくりをくれたのが、ごんだと気づいた兵十の感情

--	--

③目をつぶったまま、うなずいたごんの感情

--	--

○一番かわいそうなのは、ごんでしょうか、兵十でしょうか。

○物語の学習を終えて